

お知らせ

【倫理観を実践に移す】

スコットランド出身のゴードン R. マッキナリーRI 会長は、優先事項を実現する準備ができています。

毎年1月にイギリス全土で開催される「バーンズ・ナイト」。スコットランドを代表する詩人口バート・バーンズ(1759-1796)の誕生日を祝って、彼の歌や詩を披露・鑑賞する日です。そしてもちろんスコッチウイスキーやスコットランドの伝統料理・ハギスも振る舞われます。これぞまさにスコットランド。自宅にほど近いスコティッシュ・ボーダーズの町ガラシールズで、ゴードンさんも友人たちと一緒にバーンズ・ナイトを楽しんでいます。

連れ添って42年の妻ヘザーさんは、1997年にグラスゴーで開催されたロータリー国際大会の時に仕立てたサッシュ(リボンや帯の一種)をまわって、子ども時代から慣れ親しんだバーンズの歌を朗々と歌い上げます。音楽の専門教育を受けた彼女は、オペラ歌手であり、音楽教師でもあります。記事の続きは[こちら](#)

【メンタルヘルスを優先することはなぜ大切なのか】

寄稿者:ゴードン R. マッキナリーさん(2023-24年度国際ロータリー会長)

私は2023-24年度国際ロータリー会長として、世界的なメンタルヘルスの問題に特に焦点を当てています。メンタルヘルスや心の健康は、誰にとっても口にしやすいトピックかもしれませんが。国や地域によってはそのような対話がとても難しい場合があることも理解しています。

しかし、自分のメンタルヘルスや心の健康を大事にできるよう互いに心を開き、助け合うことの恩恵は計り知れません。多くの人に苦難や孤立を強いることとなった新型コロナウイルスの世界的大流行がようやく終わりつつある今、私たちの多く、そして私たちが奉仕する人びとの多くが、引き続き心の健康の問題を抱え、誰にも相談できずに悩んでいます。ロータリー会員である私たちは、そのような人たちに手を差し伸べることができます。親睦と奉仕を礎とする団体として、私たちは互いを信頼し、思いやりながら、支えあうことができます。私たちは皆、メンタルヘルスとウェルネスについて地域社会とオープンなディスカッションを行い、地域で予防ケアや支援の堅固な土台を築くことができます。

記事の続きは[こちら](#)

[My ROTARY RIレポート](#)

[寄付送金明細書](#)

[寄付・認証の手引き](#)

2023-24年度

目標(世界)

- ・年次基金:1億5,000万ドル
- ・ポリオプラス基金:1億5,000万ドル(ゲイツ財団からの上乗せ含む)
- ・恒久基金:1億4,000万ドル(2025年までに20億2,500万ドル)
- ・その他の現金寄付:6,000万ドル(グローバル補助金への現金拠出等)
- ・全体(上記合計):5億ドル

目標(日本)

- ・年次基金:一人当たり150ドル
年次基金寄付ゼロクラブゼロ達成
EREY(年次基金への寄付)の推進
ポール・ハリス・ソサエティの推進(各地区+30名目標)
- ・ポリオプラス:一人当たり30ドル
- ・恒久基金:冠名基金を各地区1件以上設立
- ・大口寄付:1万ドル以上のご寄付100件、AKS10名増(日本全体)
- ・ポリオプラスへDDFの20%を寄贈
- ・ロータリー平和センター、重点分野へのDDF寄贈
- ・世界ポリオデー(WPD)の推進
- ・補助金の活用の促進
- ・ロータリー平和フェローシップの推進

日本の状況

冠名基金数 252
AKS会員数 60
PHS会員数 1381

My Rotary scheduled maintenance

My ROTARYのメンテナンスが行われる予定です。メンテナンス期間中は、ログインが必要なページ(オンライン寄付、請求書のお支払い、補助金、各種レポート、ロータリークラブ・セントラル、ラーニングセンター、クラブと地区の運営など)へのアクセスが一時的に途切れる場合がございます。(その間、ゲストとしてオンライン寄付をしていただくことは可能です) ご不便ご迷惑をおかけし申し訳ございません。何とぞご理解のほどよろしくお願いいたします。

日付: 2023年7月28日午後05:30分から
2023年7月30日午後12:00(シカゴ時間)

【ウクライナ救援基金】

ウクライナ支援のためのご寄付は、過去 14 カ月間で 1,600 万米ドルが集まり、戦争の被害を受けた人びとへの支援を提供する何百件もの補助金活動に生かされました。ご寄付は、ウクライナや世界各地でのウクライナ難民を支援し、復興活動をサポートする会員主導のプロジェクトに役立てられました。

しかし、依然として大きなニーズがあります。ロータリーでは引き続き、食糧、安全な水、衣服を提供するために災害救援補助金を承認していきます。また、病院への電力の供給、負傷した市民の治療、家を追われた家族へのシェルターの提供のための補助金も承認しています。これらを実施していくためには、引き続きご支援が必要とされています。

現在、ウクライナ救援基金からの資金がすべて使い尽くされたため、必要物資を届けるための補助金 40 件以上が保留状態となっています。ウクライナ救援基金へのご寄付を、ぜひご検討いただけましたら幸いです。

ご寄付は[こちら](#)

[「世界で広がるウクライナ支援のネットワーク」](#)
[「パキスタンとウクライナへの支援を目的とする基金を管理委員会が設置」](#)

リソース
<My ROTARY>

[Rotary.org 利用にあたってのリソース](#)
[「My ROTARY」アカウント登録方法](#)
[ブランドリソースセンター](#)
[ロータリーの日本語フェイスブック](#)
[ロータリーボイス](#)
[組織規定](#)
[管理委員会の決定](#)
[ロータリーのプライバシーの方針](#)

[ロータリーのラーニングセンターを活用しよう](#)

<資料>

[財務報告](#)
[年次報告\(オンライン版\)](#)
[ロータリー財団概要資料](#)
[ロータリー財団参照ガイド](#)

<各種レポート>

[My ROTARY](#) にログインをすると、[「各種レポート」](#)から、役職に応じてレポートを閲覧できます。

- PHF とベネファクターレポート
- クラブ認証概要レポート(CRS)
- メジャードナー/アーチ C、クランフ・ソサエティ/遺贈友の会レポート
- PHS レポート
- 月次寄付レポート(MCR)
- 地区ファンドレイジング分析
- 補助金に関するレポート など
- 寄付者履歴レポート(本人のみ)

認証や、各種レポートの閲覧方法等は、「[寄付・認証の手引き](#)」もご参照ください。

[パキスタンとウクライナを支援するための二つの一時的な基金について](#)

【メンタルヘルスの支援に取り組む分野特化型ロータリークラブ】

ロータリアンである夫から長年ロータリーへの入会を勧められてきた医師マリベル・コーリー-シャーさんは、多忙のためこの誘いを断ってきました。しかし、メンタルヘルスとウェルネスに焦点を当てたロータリークラブが設立されると聞くや否や、すぐにその機会に飛びつきました。

内科医であるシャーさんは、新型コロナウイルス流行が始まって以来、多くの患者が不安やうつに悩まされているのを目にし、自身も医療従事者として疲弊していました。この新クラブの設立は、彼女にとってまさに絶妙のタイミングでした。現在このクラブの会長を務めているシャーさんは、「クラブでは、自分と同じ関心をもつ人たちと一緒に活動でき、生きがいを感じています」と話します。オンラインで例会を行うこのクラブは、世界中から入会者を受け入れており、メンタルヘルス分野の医療従事者や専門家のほか、この問題に強い関心を抱いている人が会員となっています。

記事の続きは[こちら](#)

【インターアクターが募金活動で大活躍】

1962年に創設されたロータリーのプログラム「インターアクト」は、12～18歳の学生がリーダーシップスキルを学び、地元でボランティア活動する場となっています。中高生とはいえ、インターアクターたちの活動力には目を見張るものがあります。

インターアクターであるメリーン・ロスモンさん(米国カリフォルニア州)は、まだ高校生ながら地元や世界に大きなインパクトをもたらしています。

そのことは、ロスモンさんがリーダーを務める第5170地区インターアクトが集めた募金額からも明らかです。同地区に123あるインターアクトクラブの募金活動では、学年度末までに総額4万ドル(約550万円)以上が集まる見込みとなっています。集めた資金は、同地区のインターアクターたちが2023年に選んだ目的(サンフランシスコ湾岸地域での食糧支援とホンジュラスでの水・衛生環境の改善)のために役立てられます。

記事の続きは[こちら](#)

【ロータリーと米国国際開発庁(USAID)が互いの強みを生かす】

安全に管理された水・衛生設備(WASH)の利用の改善を目的とする米国国際開発庁(USAID)との長期的な戦略的パートナーシップは、これまでに大きな成功を収めています。この官民のパートナーシップは、私たちが奉仕する地域社会へのインパクトをいかに高め、ロータリー会員が単独では行うことのできない支援活動をどのように拡大できるかを示しています。

すべてのパートナーの強みを生かす能力こそが、よきパートナーとなるための条件であると話すのは、ロータリーの水と衛生の重点分野担当スタッフのエリカ・グウィンです。「パートナーシップがうまくいっていれば、1+1=2以上の効果が出ます。パートナーシップの影響は、単なる足し算だけではなく、掛け算でなければなりません」記事の続きは[こちら](#)

リソース

<資料>

[年次基金とシェア](#)

[寄付者の認証](#)

[税制上の優遇措置](#)

[オンラインでの寄付](#)

[認証ポイント使用申請書](#)

[ポール・ハリス・ソサエティ\(PHS\)](#)

[PHSパンフレット](#)

[PHS入会フォーム](#)

[PHS認証状テンプレート](#)

[PHSオンライン入会手続き\(ppt\)](#)

[資金モデルの変更について\(2021年7月より有効\)](#)

国際財団活動資金(WF)に関するプレゼンテーション

• [パワーポイント](#)

• [動画](#)

[END POLIO NOW](#)

恒久基金

[「恒久基金 地区の手引き」](#)

[ロータリーの恒久基金](#)

[恒久基金の財務報告](#)

[ロータリー賞](#)

<DDFの寄贈>

ポリオプラス基金にDDF(地区財団活動資金)を寄贈されますと国際財団活動資金(WF)から半額の組み合わせがあり、その合計にゲイツ財団から2倍の上乗せがあります。

例: $DDF2 + WF1 + \text{ゲイツ} 6 = 9$

※WFからの組み合わせ上限額は500万ドル、ゲイツ財団からの上乗せ対象は上限5,000万ドルです。

[DDFオンライン寄贈フォーム](#)

<感謝状>

ポリオプラスへ1,500ドル以上のご寄付をくださったクラブ、DDFの20%以上をポリオプラス基金へ寄贈してくださった地区は、次年度に感謝状が贈られます。

【9月11日～17日は「地域社会を祝おう」週間】

9月11日～17日の週、国際ロータリー、[ライオンズクラブ国際協会](#)、[国際キワニス](#)、[オプティミスト・インターナショナル](#)が、合同で世界中の地域社会を祝います。四つの主要奉仕団体によるこの合同の取り組みは、今年で3年目となります。

ロータリークラブとローターアクトクラブは、地域社会に長期的なインパクトをもたらすために、地元にあるこれらの団体のクラブとの合同活動を実施することが奨励されています。各団体のウェブサイトにあるクラブ検索機能で、地元のクラブ([ライオンズ](#)、[キワニス](#)、[オプティミスト](#))をお探しいただけます。まずは、地元の福祉団体や自治体に働きかけ、地域社会のニーズを調べて、それに取り組むプロジェクトを立案することから始めましょう。

皆さまが実施する合同活動について地元の人びとや国際ロータリーに伝えるために、ソーシャルメディアへの投稿やロータリーショーケースへの掲載をご検討ください。

(ソーシャルメディアでのハッシュタグ「#CelebrateCommunity」)

つながりを築き、力を合わせることで、奉仕のインパクトがさらに高まります。これらの4団体の340万人の会員の力を結集させ、ともに地域社会を祝いましょう。記事は[こちら](#)

ポリオプラス

ロータリー会員はこれまで、予防接種キャンペーン、地域社会の協力促進、募金と認識向上、各国政府に対する支援の呼びかけに力を入れてきました。今日、多くの会員がポリオ根絶達成に向けて世界各地で活動しています。今年も世界ポリオデー(10月24日)に向けて、ポリオ根絶を成し遂げるための活動にぜひご協力ください。

ポリオ根絶活動の重要性が世界的に高まっています。今年5月、ジュネーブで開催された世界保健総会では、野生型ポリオウイルスの連鎖を絶つ機会について話し合いが行われ、専門家は、予防接種を受けていない子どもたちに手を差し伸べることが成功の鍵であることに合意しました。日本ではG7首脳会合とG7保健相会合が開かれ、ポリオのない世界を迅速に実現するという緊急の必要性が強調されました。くわしくは、[こちらの記事\(英語\)](#)をご覧ください。

ポリオ根絶はロータリーの最優先課題です。皆さまのご支援を何卒お願い申し上げます。

関連動画やソーシャルメディア用の例文など、リソースは「End Polio Now ウェブサイト」もぜひご活用ください！

End Polio Now ウェブサイト「[リソースセンター](#)」



【野生型ポリオウイルスによる症例数】

掲載サイト: [GPEI ウェブサイト\(英語\)](#)

| | | 2023年 1月1日～ 7月18日 | 2022 | 2021 | 2020 |
|-----------|---------|-------------------------|------|------|------|
| 常在国 | パキスタン | 1 | 20 | 1 | 84 |
| | アフガニスタン | 5 | 2 | 4 | 56 |
| 非常 常在国 | モザンビーク | 0 | 8 | 0 | 0 |
| | マラウイ | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 世界合計 | | 6 | 30 | 6 | 140 |



～ポリオプラス・ソサエティ(PPS)～

ポリオプラス・ソサエティ(PPS)は、ポリオ根絶まで毎年100米ドルを「ポリオプラス基金」にご寄付いただくロータリー会員の参加・登録を進めていただく地区主導のプログラムです。ポリオの根絶を目指し、この機会にぜひ地区内での推進をご検討いただけますと幸いです。PPSの詳細は、財団室NEWS6月号もご参照ください。

※ポリオプラス基金へのご寄付は、ポール・ハリス・ソサエティ(PHS)とポリオプラス・ソサエティ(PPS)、双方の認証の対象となります。

寄付・認証

【2022-23年度年次基金寄付ゼロクラブ最終報告】

円安等の難しい状況が続くなかでも、各地区におかれましては年度最終日まで細やかに各クラブへサポートいただき、誠にありがとうございました。結果として、多くのクラブからロータリー財団へご寄付をお寄せいただきましたこと、重ねて御礼申し上げます。

今年度全クラブが年次基金寄付ゼロクラブゼロの目標を達成できるよう、引き続きご支援の程よろしく願いいたします。

地区別年次基金寄付ゼロクラブ数

2023年6月30日現在

| 地区 | クラブ数 | 地区 | クラブ数 | 地区 | クラブ数 |
|------|------|------|------|------|------|
| 2500 | 0 | 2620 | 0 | 2740 | 0 |
| 2510 | 0 | 2630 | 0 | 2750 | 0 |
| 2520 | 0 | 2640 | 4 | 2760 | 0 |
| 2530 | 0 | 2650 | 0 | 2770 | 0 |
| 2540 | 0 | 2660 | 0 | 2780 | 0 |
| 2550 | 0 | 2670 | 0 | 2790 | 0 |
| 2560 | 0 | 2680 | 0 | 2800 | 0 |
| 2570 | 0 | 2690 | 0 | 2820 | 0 |
| 2580 | 0 | 2700 | 0 | 2830 | 0 |
| 2590 | 0 | 2710 | 0 | 2840 | 0 |
| 2600 | 0 | 2720 | 0 | 合計 | 4 |
| 2610 | 0 | 2730 | 0 | | |

【月次寄付レポートの更新のお知らせ】

My ROTARY で閲覧いただけます「月次寄付レポート」に項目が追加され、ポリオプラス基金への寄付額をご確認いただけるようになりました。また、ローターアクトクラブからの寄付も本レポートに表示されるようになりました。地区内クラブの寄付推進にぜひご活用ください。

➤ レポート閲覧方法

- ① [My ROTARY](#)にログインします。
- ② 「ロータリー財団」の「[各種レポート](#)」をクリックします。
- ③ 画面が変わり、「地区に関するレポート」まで下りていただくと、その中に「寄付&認証」があります。地区の寄付の「レポートを見る」をクリックし、画面が変わった後、「月次寄付レポート」をクリックします。

タイトルクリック後に現れる「プロンプト」で、閲覧したい年度と月を選びます。年度と月をクリックしてから右向きの三角形「>」をクリックすると選択できます。

(例)2022-23年度6月時点(年度末)の寄付額を閲覧したい場合
 年度→2022-2023、 月→6

地区内クラブの一覧が表示されます。

- 一覧表の最後の行には、地区の合計が表示されます。
- 会員数は9月頃に反映される予定です。
- 「その他の基金」には、補助金への現金拠出やロータリー災害救援基金への寄付などが含まれます。

| クラブ ID | クラブ名 | 会員数 | 年次基金 目標額 | 目標達成度 (%) | 年次基金 (一人当 たり) | 年次基金 累計額 | ポリオプラス 基金 累計額 | その他の基金 累計額 | 恒久基金 累計額 | - 合計 - |
|--------|------|-----|-------------|--------------|---------------------|-------------|---------------------|---------------|-------------|-------------|
| 地区: | | | \$0.00 | 0% | \$0.00 | \$2,307.69 | \$14,771.00 | \$0.00 | \$0.00 | \$3,715.04 |
| | | 34 | \$3,400.00 | 159% | \$158.62 | \$5,393.18 | \$300.61 | \$0.00 | \$0.00 | \$5,693.79 |
| | | 27 | \$0.00 | 0% | \$0.79 | \$21.43 | \$861.00 | \$0.00 | \$0.00 | \$882.43 |
| | | 20 | \$0.00 | 0% | \$0.00 | \$0.00 | \$0.00 | \$0.00 | \$0.00 | \$0.00 |
| | | 49 | \$0.00 | 0% | \$0.00 | \$0.00 | \$0.00 | \$0.00 | \$0.00 | \$21.43 |
| | | 15 | \$0.00 | 0% | \$0.00 | \$0.00 | \$0.00 | \$0.00 | \$0.00 | \$950.00 |
| | | 32 | \$0.00 | 0% | \$0.00 | \$0.00 | \$0.00 | \$0.00 | \$0.00 | \$4,985.00 |
| | | 15 | \$0.00 | 0% | \$0.00 | \$0.00 | \$0.00 | \$0.00 | \$0.00 | \$100.00 |
| | | 16 | \$0.00 | 0% | \$0.00 | \$0.00 | \$0.00 | \$0.00 | \$0.00 | \$235.71 |
| | | 53 | \$0.00 | 0% | \$0.00 | \$0.00 | \$0.00 | \$0.00 | \$0.00 | \$11,125.00 |
| | | 18 | \$1,028.00 | 285% | \$162.56 | \$2,926.10 | \$570.39 | \$0.00 | \$1,000.01 | \$4,496.50 |
| | | 51 | \$9,000.00 | 115% | \$203.73 | \$10,390.12 | \$3,476.00 | \$0.00 | \$1,000.01 | \$14,866.13 |
| | | 48 | \$7,200.00 | 100% | \$150.00 | \$7,200.00 | \$1,618.24 | \$0.00 | \$1,000.00 | \$9,818.24 |

年次基金寄付ゼロクラブの確認はこの欄をみます。「\$0.00」と表示されているクラブは、まだ年次基金への寄付が無いクラブです。

ポリオプラス基金累計額

3つのタブがあります。

【ロータリー災害救援基金へのご寄付に関する最新情報】

ロータリー災害救援基金・補助金の試験段階(2019~2022年度)が終わり、災害救援基金が正式なものとなり、年次基金と災害救援基金との違いを明確にするための変更が加えられました。

2023年7月1日より、災害救援基金へのご寄付は次のように扱われることとなります。

災害救援基金への寄付で可能なこと

- 財団の認証ポイントに加算され、寄付者の累積寄付額に算入される
- ポール・ハリス・フェロー、ポール・ハリス・ソサエティ、メジャードナー、アーチ・クランフ・ソサエティの認証の対象となる
- クラブによる「100%財団寄付クラブ」バナー認証の対象となる

災害救援基金への寄付で可能ではないこと

- クラブの年次寄付目標への算入
- 一人あたりの年次基金寄付の計算における算入
- DDFの創出
- Every Rotarian, Every Year またはロータリー財団友の会会員としてのステータスを維持するための算入

2023年7月1日より、災害救援基金への寄付は、年次基金の寄付額には算入されませんのでご注意ください。また、月次寄付レポートや寄付詳細レポートなどに「その他」として表示されます。記事は[こちら](#)

【寄付送金明細書の更新】

公益財団法人ロータリー日本財団へ銀行振り込みでのご寄付(日本円の銀行振込でのご寄付)の際には、「[寄付送金明細書](#)」の送付が必要となっております。この度、本書式の更新をいたしました。上記ロータリー災害救援基金の変更点なども、反映しています。

- ダウンロードは[こちら](#)

[公益財団法人ロータリー日本財団 寄付送金明細書\(ロータリー会員/クラブ用\)](#)

- ロータリーのウェブサイトからも、いつでもダウンロードいただけます。

[My ROTARY](#) 「行動する」 → 「ご寄付」欄の「ご寄付の方法」

→ 「ご寄付」ページの最下部「寄付書式」欄内にある、

「公益財団法人ロータリー日本財団 寄付送金明細書(ロータリー会員/クラブ用)」



お手元の古い書式から、新しい寄付送金明細書へ差し替えをお願いいたします！

【ロータリー国際大会で寄付者の貢献を称える】

2023年ロータリー国際大会では、世界各地のプロジェクトを可能としている寄付者の方々に感謝を示し、その貢献を認証するため、インスピレーションあふれるドナーサミットや準礼装での晩餐会などが行われました。

アーチ・クランフ・ソサエティ大会前式典では、同ソサエティへの新規入会者や寄付のレベルアップをした方々が認証されました。ロータリー財団ドナーサミットでは、ロータリーのリーダーが、ロータリーのプログラムを支援することによってもたらされるインパクトについて、1,000人以上の参加者に語りかけました。「ここにいらっしゃる皆さまは、ご自分の人生、そして人びとへの奉仕の両方で、それぞれの道を歩んでいらっしゃいました」とイアン H. S. ライズリー管理委員長が述べました。記事の続きは[こちら](#)

E/MGA 主催 「恒久基金／大口寄付 情報交換会」開催
各地域の恒久基金／大口寄付推進アドバイザー(E/MGA)が、担当地区の現状を把握し、それぞれに適した協力・連携をするため、地区で専任された恒久基金／大口寄付小委員会委員長や地区リーダーを対象とした情報交換会を開催します。

<開催日時およびお問い合わせ先>

- 第1地域 2023年8月30日(水) 16:00~17:30
E/MGA 細川吉博 y.hosokawa@hakuai.org
- 第2地域 2023年8月28日(月) 16:00~17:30
E/MGA 杉岡芳樹 ysugioka@sagamigas.com
- 第3地域 2023年8月29日(火) 16:00~17:30
E/MGA 末長範彦 n.suenaga@okayama-toyopet.jp

【公益財団法人ロータリー日本財団 領収証について】

2023年1月から6月までの個人寄付の確定申告用領収証を、2023年7月末にクラブ宛に送付予定です。なお、領収証は半年間の合計寄付額です。(振込みとクレジットカードによる寄付は、別々に発行されます。)記載の日付は半年間の最終寄付日です。

領収証が届きましたら寄付者へお渡しいただき、必ず金額、お名前などをご確認いただきますようお願いいたします。誤りがありましたら、国際ロータリー日本事務局 経理室 (rijpnfs@rotary.org)までご連絡下さい。

多くの方々からのあたたかいご寄付に、心よりお礼申し上げます。

補助金

【補助金管理セミナー2023-24年度の再取得コース】

ラーニングセンターの「[補助金管理セミナー](#)」には、年度ごとに最新情報を含む再取得コースが設けられます。「[2023-24年度の再資格認定コース](#)」では、地域社会調査の実施、プロジェクトの立案、奨学金、グローバル補助金の財務管理、インパクトの測定と報告、まとめの知識チェックの6つのコースがあり、これまでに補助金の申請経験がある方も、初めての方にも具体的でわかりやすいコースとなっています。

(ラーニングセンターには、[My ROTARY](#) へのログインが必要です。)

【補助金センター】

補助金を申請しているまたは予定しているクラブの会長や、プロジェクトの委員予定者は、一度補助金センターを開いて、申請書の検索や、リソースの閲覧をしてみましょう。地区内のクラブの過去の申請書などを閲覧することもできますので、申請のイメージがしやすくなります。

1. [My ROTARY](#) にログイン後、「行動する」をクリック
2. 「補助金を申請する」欄の「申請はこちら」をクリックすると、「補助金センター」が開きます。

<補助金>

[ロータリーの補助金](#)

[授与と受諾の条件](#)

- [地区補助金用](#)
- [グローバル補助金用](#)

[補助金による旅行](#)

[ロータリーの旅行禁止国リスト](#)

[グローバル補助金ガイド](#)

[地域社会調査の結果フォーム](#)

[地域調査の方法](#)

[協力団体の覚書\(MOU\)](#)

[ローターアクターによるロータリー](#)

[補助金の利用 よくある質問](#)

<重点分野>

[重点分野の基本方針](#)

[重点分野ガイド](#)

[重点分野別ガイドライン](#)

- [基本的教育と識字率向上](#)
- [疾病予防と治療](#)
- [地域社会の経済発展](#)
- [母子の健康](#)
- [平和構築と紛争予防](#)
- [水と衛生](#)
- [環境](#)

[モニタリングと評価の計画について](#)

<プロジェクトのヒント>

[ロータリーショーケース](#)

[プロジェクトフェア](#)

[補助金担当職員一覧](#)

[重点分野の担当職員](#)

[補助金レポートの利用方法](#)

<オンライン申請>

[補助金センター](#)

[補助金センターのご利用ガイド](#)

[補助金センターのご利用ガイドグローバル](#)

[補助金奨学生](#)

[グローバル補助金申請書のテンプレート](#)

[グローバル補助金報告書のテンプレート](#)

[グローバル補助金 計算表](#)

<奨学金>

[奨学金の提供](#)

[ロータリー平和フェローシップ](#)

[ロータリーの学友](#)

[グローバル補助金奨学生のテンプレート](#)

<補助金の参加資格認定>

[参加資格の認定](#)

[地区の覚書\(MOU\)](#)

[補助金管理セミナー指導者用手引き](#)

[地区の参加資格認定に関するよく](#)

[ある質問\(FAQ\)](#)

[地区資金管理計画ガイド](#)

[クラブの覚書\(MOU\)](#)

【報告書の期限】

グローバル補助金では7月から8月にかけて承認や支払いを受けるプロジェクトが多いため、この時期にはパートナークラブや地区が提唱する別の補助金の報告期限が過ぎていて新しい補助金の承認・支払が遅れるケースが多くみられます。補助金の報告書は、必ず期限内にご提出いただきますようお願いいたします。(補助金センターの「私の補助金」ページから期限を確認できます。)

奨学金の場合も、報告書期限は補助金支払日からの起算となります。報告の期限が8月で、9月に留学等が完了予定という場合、奨学金を使い切っていれば早めに最終報告書を提出することもできますので、「あと少しで留学が終了するから…」と留学期間に合わせて報告期限を過ぎてしまうことのないようお願いいたします。

【補助金口座について】

● 補助金受領口座

補助金受領口座は、資金が、他の資金と混ざらないように管理できるよう、補助金専用口座をご用意ください。

口座名には、提唱者がクラブの場合はクラブ名、地区の場合は地区番号情報を含めてください。クラブや地区での口座開設が難しいこともあるため、すでに以前の補助金資金が使い果たされているなど、資金が混ざらないことが確実であれば、既存の口座を再度使用できます。(ただし、口座名に個別の補助金番号が含まれる場合、新しい補助金にあわせて適宜口座名のご変更をお願いいたします。)

グローバル補助金の場合、口座情報は、補助金を受領するクラブ/地区のみが提出します。

● 通帳のアップロード

地区補助金は申請書に、グローバル補助金は提出後に追加情報としてオンラインで補助金受領口座の情報を提出します。その際、補足文書として通帳の表紙裏などカタカナで口座名が書かれたページのアップロードが必要です。

この手続きがされていないことで送金が遅れるケースが頻発しています。

また、口座情報は機密性の高い情報となるため、Eメールで送信することは避けてください。補助金センターから直接アップロードするか、やむを得ずEメールで送る場合は、メールを暗号化していただくようお願いいたします。

● 報告書へのアップロード

グローバル補助金の場合は、銀行取引明細の写しとして、口座の補助金受領からすべての資金を使い切るところまでのページを報告書に添付します。奨学金プロジェクトの場合も、提出するのは提唱クラブまたは地区の口座です。奨学生本人の通帳情報は不要です。

※地区補助金の報告書では、通帳や銀行取引明細の写しのアップロードは必須ではありません。地区やクラブにて必ず保管をお願いいたします。(報告書の審査の際に、個別に提出をお願いさせていただく場合がございます)



● 補助金資金について

補助金資金に利子が付いた場合は、補助金の一部としてプロジェクトに使用し、補助金の記録にも残します。

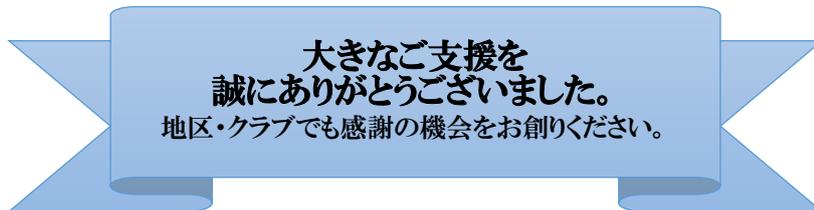
1,000ドル以下の未使用の資金は、事前の承認を受けずに、プロジェクト関連経費に使用できます。金額にかかわらず、補助金と関係のない経費への使用はできません。(地区補助金の場合は、利子も含め地区全体で1,000ドル以下)

プロジェクトの支払い完了後に利息が付いてしまった場合、ほかに返金予定の未使用の資金があればその返金額に含めます。補助金返金の予定が無い場合は、プロジェクト関連の経費の一部として、送金手数料等に充てたり、追加プロジェクトの経費に充てる(地区補助金の場合)など、地区にてご相談ください。なお、どのように利用したのか補助金の記録にも残すようお願いいたします。

参考

- 「[ロータリー財団地区補助金 授与と受諾の条件](#)」
- 「[ロータリー財団グローバル補助金 授与と受諾の条件](#)」
- 「[地区の覚書\(MOU\)](#)」
- 「[クラブの覚書\(MOU\)](#)」
- 「[グローバル補助金 ガイド](#)」

大口寄付(一括10,000ドル以上のご寄付)



| 2023年6月26日～7月21日 確認分(敬称略、寄付日順) | | | | | |
|--------------------------------|----------|-------|-------|-------------|------|
| 地区 | クラブ | 寄付者 | 地区 | クラブ | 寄付者 |
| 2690 | 岡山 | 末長 範彦 | 2780 | 相模原 かめりあ | 田島 恵 |
| 2760 | 名古屋 中 | 籠橋 美久 | 計 3 名 | | |

※オンライン寄付や諸手続きを要する大きなご寄付の場合、掲載に時間がかかる場合がございます。

<ロゴ>

[ブランドリソースセンター](#)
[ロゴのテンプレート、クイックガイド](#)
[「END POLIO NOW」のロゴ](#)
[ラーニングセンターの「公共イメージ」](#)
 のコース内の、ロータリーのロゴやブランドのコースもご活用ください。

[クラブ推進の強い味方:ブランドリソースセンター](#)
[クラブで SNS を活用するヒント](#)

今後の予定

| | |
|----------------|---|
| 7月1日～ 9月15日 | ロータリー最優秀学友会賞、ロータリー学友世界奉仕賞 |
| 7月1日～ 10月1日 | ポリオのない世界を目指す奉仕賞 |
| 10月24日 | 世界ポリオデー |
| 11月19日 ～22日 | 第52回ロータリー研究会ならびに付随プログラム |

国際ロータリー日本事務局財団室
 〒108-0073
 東京都港区三田 1-4-28
 三田国際ビル 24 階
 Email: RJPNTRF@rotary.org
 Tel: 03-5439-5805
 Fax: 03-5439-0405

財団室 NEWS への個人データの掲載は、本人の許可を得ています。ロータリーの事業目的以外でお名前やクラブ名等個人を特定できる情報を含むデータの複製、転用、転載等にはできません。詳しくは[個人データの使用に関するロータリーの方針](#)をご参照ください。